

# 研究報告

【2016年度～2021年度】

教員名	植田 尚樹
所属	国際文化学部
学位	博士（文学）
専門分野	音声学、音韻論、モンゴル語
研究テーマ	アルタイ諸言語の音韻論
所属学会	日本言語学会、日本音声学会、日本音韻論学会、日本モンゴル学会、日本北方言語学会、Altaic Society of Korea
研究活動 及び 社会活動	<p>①学術書／学術論文</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. Rhythm in Mongolian proverbs: Functions of syllables and morae. <i>Asian and African Languages and Linguistics</i> 15: 77–92, 2021.</li> <li>2. 「モンゴル語の母音に関する総合的研究」（講演要旨）日本音韻論学会（編）『音韻研究』97–98. 東京：開拓社, 2021.</li> <li>3. The merger between /ʊ/ and /o/ in Khalkha Mongolian: A study based on an acoustic analysis and a perceptual experiment. <i>Northern Language Studies</i> 11: 167–180, 2021.</li> <li>4. 「モンゴル語を母語とする日本語学習者の清音 - 濁音の音声—語頭閉鎖音の VOT と母音の無声化—」『音声言語の研究』14: 1–12, 2020.</li> <li>5. 「民和土族語における帯気性の対立の音声的特徴」『言語記述論集』12: 51–70, 2020.</li> <li>6. 「モンゴル語ハルハ方言の語中閉鎖音の音声的バリエーションと音韻解釈」『日本モンゴル学会紀要』50: 1–18, 2020.</li> <li>7. The acoustic realization of preaspiration in Khalkha Mongolian. <i>Northern Language Studies</i> 10: 99–115, 2020.</li> <li>8. 『モンゴル語の母音—実験音声学と借用語音韻論からのアプローチ』京都：京都大学学術出版会, 2019.</li> <li>9. Voice onset time of word-initial stops and affricates in Khalkha Mongolian. <i>Journal of the Phonetic Society of Japan</i> 22 (2): 131–140, 2018.</li> <li>10. 「モンゴル語ハルハ方言の語頭阻害音の対立における F0 と F1 の特徴」『言語記述論集』10: 81–95, 2018.</li> <li>11. 「モンゴル語の母音に関する総合的研究」博士論文, 京都大学, 2018.</li> <li>12. 「モンゴル語ハルハ方言の母音長の知覚について」林徹・久保智之・藤代節・大崎紀子・岸田泰浩・菅原睦（編）『ユーラシア諸言語の多様性と動態：20号記念号：追悼庄垣内正弘先生』449–462. 神戸：ユーラシア言語研究コンソーシアム, 2018.</li> <li>13. The duration of full non-initial vowels in Khalkha Mongolian. <i>Mongolia: Area and Culture Studies</i> 4 (466): 137–142, 2017.</li> <li>14. Pitch patterns of phrases in Khalkha Mongolian. In: <i>The phonological society of Japan</i> (ed.)</li> </ol>

*Phonological studies* 20, 63–68. Tokyo: Kaitakusha, 2017.

15. 「モンゴル語の2種類の阻害音の弁別的特徴について」日本音韻論学会（編）『現代音韻論の動向 日本音韻論学会20周年記念論文集』16–17. 東京：開拓社, 2016.

#### ②一般書／新聞記事

1. 「新生・北洋大 地域に伝えたい」『北海道新聞（苫小牧日高）』2021年4月22日付朝刊.
2. 「夢に向かって挑戦 苫駒大から改称 北洋大入学式 1期生31人でスタート」『苫小牧民報』2021年4月5日付.

#### ③学会発表

1. The merger between /ʊ/ and /o/ in Khalkha Mongolian: A study based on a perceptual experiment. 2020 Conference of Altaic Society of Korea. Online, 5 December 2020.
2. 「モンゴル語ハルハ方言の /ʊ/ と /o/ の合流—知覚実験に基づく検討—」日本北方言語学会第3回大会. オンライン. 2020年11月7日.
3. 「モンゴル語の母音に関する総合的研究」音韻論フォーラム 2020 博士取得者講演. オンライン. 2020年8月29日.
4. 「モンゴル語ハルハ方言の前気音の音声的特徴」日本北方言語学会第2回研究会. 富山大学. 2019年11月9日.
5. 「モンゴル語のことわざにおけるリズム」フィールド言語学ワークショップ: 第15回文法研究ワークショップ「言葉遊びと音韻論 (1)」。東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所. 2019年9月24日.
6. VOT and F0 in the aspiration contrast in Khalkha Mongolian. The 14th Seoul International Altaistic Conference. Chonbuk National University, 22 July 2019.
7. 「モンゴル語における語中閉鎖音の帯気性の知覚」日本音声学会第339回研究例会. 大東文化会館. 2019年6月1日.
8. 「帯気性の対立におけるインテンシティーの特徴—モンゴル語ハルハ方言のデータをもとに—」第14回音韻論フェスタ. 明海大学. 2019年3月5日.
9. 「中国語・内モンゴル語・モンゴル語の語頭閉鎖音における VOT の差異」日本言語学会第157回大会. 京都大学. 2018年11月17日.
10. 「モンゴル語ハルハ方言の語頭阻害音の音響的特徴」第13回音韻論フェスタ. 早稲田大学. 2018年3月5日.
11. Root harmony and suffix harmony in Khalkha Mongolian. The 13th Seoul International Altaistic Conference. National University of Mongolia, 15 July 2017.
12. 「モンゴル語ハルハ方言の母音の長さ」日本言語学会第152回大会. 慶應義塾大学. 2016年6月25日.

#### ④学会等における活動

1. 東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所 共同利用・共同研究課題（課題名：「モンゴル諸語における変容—外的要因と内的要因」）共同研究員. 2018年4月1日～

2021年3月31日.

2. 日本学術振興会特別研究員 (PD). 2017年4月1日～2020年3月31日.

⑤社会活動

【講演等】

1. 「日本語の発音」早稲田大学日本語教育研究センター「わせだ日本語サポート」夜まつり. オンライン. 2020年11月19日.
2. 「日本語の発音」早稲田大学日本語教育研究センター「わせだ日本語サポート」特別企画 特別講義. オンライン. 2020年7月16日.
3. 「1年生・特別発音講座」モンゴル国立科学技術大学高専留学プログラム. 2019年3月15日, 19日.

【委員会等】

1. 苫小牧市環境審議委員. 2021年4月1日～2023年3月31日（予定）.

⑥受賞歴

1. 新村出記念財団重山文庫 新村出研究奨励賞. 2019年11月23日.